

夏休み海へ海外へ

二十日、待望の夏休みがスタート。猛暑のなか、海やイベント会場などは家族連れや若者でにぎわい、空港では海外脱出組のラッシュもはじまった。

この日、首都圏では朝から好天に恵まれ、都心では午前中に気温は三〇度を超えた。猛暑に誘われるように各地の海水浴場は多くの家族連れなどでにぎわった。

神奈川県藤沢市の江の島周辺の海岸には、朝から海水浴客が訪れ、今夏最高の約十万人の出入。砂浜にはカラフルなパラソルの花が咲き、海辺はラッシュ並みの混雑になった。

三連休と重なったこともあって成田空港は、海外へ出発する家族連れなどでにぎわった。新東京国際空港公団によると、この日の出発客は約三万九千人。家族三人でバリ島に出掛けるという川崎市中原区の会社員、普久原正則さん(四三)は「子供はホテルのプールを楽しみにしているが、わたしはのんびりしたい」。出国のピークは八月十一日で約四万七千人が出国。

成田から3万9000人旅立つ

夏休み期間中の出発客は推計約百六十八万人で、過去最高となる見込み。

フジテレビ夏のイベント「お台場どっと混む! oodaiba.com」が二十日、真夏の日差しが照りつける東京都港区台場でスタート。フジテレビ屋上庭園の特設ステージで行われたオーブニングライブには約八百人が詰め掛けた。イベントは番組の公開収録や生中継、番組関連グッズ販売、アーティストのライブなどを展開。特別番組の生放送なども含め、九月二日まで行われる。

二十日は「海の日」。海上自衛隊は、小中学生を対象に海上自衛隊の護衛艦やヘリコプターなどに実際に乗ってもらう企画を全国の基地でスタート。横須賀港の艦艇基地でも護衛艦などが桟橋にズラリ。艦艇内を見学した子供たちは大はしゃぎだった。



伊能大図の写し 22枚を「初公開」 宮城など19府県分

開に応じた。二十二枚に収められた地域は現在の宮城、愛知、兵庫、京都、徳島など計十九府県にまたがっている。写しは一枚が畳一枚分の大きさ。約二百年前の地名や城、集落が丁寧に書き込まれ、街道や海岸線など測量に用いた線が赤で描かれている。大図は日本列島を二百十四に分け縮尺三万六千分の一で描かれ、近代の



「伊能忠敬研究会」(渡辺一郎代表理事)が、原図は火災などで焼失。写しも関東周辺の約六十枚しか見つかっていなかった。全国地図の基になったが、原図は火災などで焼失。写しも関東周辺の約六十枚しか見つかっていなかった。

がん細胞の「自殺」誘導

東大教授ら 新遺伝子を発見

がん抑制遺伝子のp53の働きを助ける、がん細胞を自殺させるよう促す新しい遺伝子を、東大医学部研究の中村祐輔教授(遺伝医学)、荒川博文助教授(腫瘍(しゅよう)医学)らが発見した。二十日発行の米医学誌モレキュラー・セルに発表した。p53は、数十ある「兵士」の遺伝子を使い分けながら、肺がんや大腸がんなど、多くのがんの抑制に重要な役割を果たしている「司令官」役の遺伝子。国内でも肺がんの遺伝子治療臨床研究に応用されている。しかし、半程度のがんには効果がなく、遺伝子を変異させる原因がある

「タカマガ」イチョロ、インズ戦速報 「(競馬)4年連続して馬連で万馬券となっている波乱の「函館記念」。今年も実力が拮抗しており、勝利が難しい馬はわずか。その混戦から抜け出すのは?

03・3275・8864 u-service@sankel.co.jp

好評 豪華バック三種 0-311886

根、利根